

掲載しているイベント・休館日等の情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、中止または変更になる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページにて掲載しています。

「こども図書館本の森」 文部科学大臣表彰を受賞



子供の読書活動優秀実践図書館として、
岡市立中央図書館が表彰されます。

こども図書館本の森は、平成 29 年 4 月に開館。

茨城県内初の独立型こども図書館として、子どもたちが読書に親しみやすい環境づくりをしていることが高く評価されました。

新型コロナウイルス感染症の終息後は、親子そろって楽しめるイベントを積極的に実施していきたいと思ひます。



『漫遊雑記』『温疫論』『傷寒論國字解』

今 回は石岡市に寄贈された資料と、その資料が実際に利用されていた江戸時代の病気に関する話を紹介します。写真の資料は『傷寒論國字解』『温疫論』『漫遊雑記』です。これらはいずれも江戸

時代後期ごろ刊行の医学書で、瓦会地区のお宅に残されていました。それぞれの病気の症状に対してどのような処置を行い、どの薬を処方するのかといった内容が書かれており、近世における医療の内容がわかる貴重な資料です。江戸時代は現在のような医療体制は整っておらず、衛生環境もよくありませんでした。そのため各地で度々疫病が流行しています。石岡でも『香丸組御留』に天然痘や麻疹が大流行した記録が残っています。文久 2 年（1862）に麻疹が流行した際には、一家全員が感染し看病できなくなってしまう家や、日々の仕事がなくなくなり、経済的に困窮する人々が発生し、社会が大きく混乱しています。そういった状況から立ち直るためには、困窮した人々に対して食べ物を融通するなどの、社会全体で支え合う行動がとられたようです。大変な時にはみんなで支え合って乗り越える。これは現代にも通じる大切な教訓ではないでしょうか。

「雨」のトラブル対策本
①洗濯物が片付かない！
「片づけ・収納・掃除・洗濯の教科書」
発行／(株)エクスマレッジ
内容／部屋干しにベストの場所、すぐ乾く干し方、生乾き臭を防ぐ工夫などをご紹介。
②雨漏り
「雨漏りトラブル完全解決」
発行／日経 B P 社
内容／雨漏り頻発箇所やリスクの高いデザインなどを紹介。

著者／トロール
発行／教育画劇
内容／世界各地から招待されたオニすごい選手がオニ

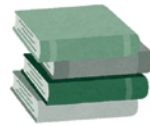


おすすめ絵本
「オニガシマラソン」

6月の休館日

1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・25日(木)・29日(月)

ガシマを走ります。いったいだれが優勝するのか?意外な結末が…。『おしりたんてい』の作者がおくる新作オモシロ絵本です。



時の記憶 シリーズ 176

江戸時代のくらしと疫病

岡文化振興課 (支所)
Tel 43-1111 (内線 1323)

時代後期ごろ刊行の医学書で、瓦会地区のお宅に残されていました。それぞれの病気の症状に対してどのような処置を行い、どの薬を処方するのかといった内容が書かれており、近世における医療の内容がわかる貴重な資料です。江戸時代は現在のような医療体制は整っておらず、衛生環境もよくありませんでした。そのため各地で度々疫病が流行しています。石岡でも『香丸組御留』に天然痘や麻疹が大流行した記録が残っています。文久 2 年（1862）に麻疹が流行した際には、一家全員が感染し看病できなくなってしまう家や、日々の仕事がなくなくなり、経済的に困窮する人々が発生し、社会が大きく混乱しています。そういった状況から立ち直るためには、困窮した人々に対して食べ物を融通するなどの、社会全体で支え合う行動がとられたようです。大変な時にはみんなで支え合って乗り越える。これは現代にも通じる大切な教訓ではないでしょうか。

俳句

いしおか俳句同好会

小幡 岡野はつ子
山笑ふコロナを印す日本地図
東田中 川島 市郎
囁りに耳傾けて鐘三つ
高浜 小池さき子
指紋まで洗うコロナに水温む
東大橋 醍醐 正夫
おばあさん帯を替えたら春隣
貝地 小池つと夢
地虫出づ働き方を改革し

やさきと俳句会

柿岡 岡村 素泡
種渡す恋瀬川より水受けて
瓦谷 國谷 南風
ジョギングの背に弾ける柳の芽
加良寿理 島田美沙生
自家製の草餅大き田舎ぶり

短歌

石岡短歌同好会

南台 海老澤明子
新聞を読みつつ語る声もなし
安らかな春かへるはいつか
南台 田村 満佐
日露戦大空襲とそれぞれに思
ひ出したる三月十日

東光台 内田千代子
コロナウイルス志村けん逝く
身をもって教えてくれた桜に
雪の日



俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

石岡 石塚 芳華
春のうららに まどろむ母の
夢の中まで 花吹雪
南台 香俱耶姫
柚子香ほんのり 田楽味噌を
纏うコンニャク 華となる
国府 坂下 蜻蛉
桜開花の 便りが来れば
百花繚乱 幕があく
川又 前島 節子
子らの未来の 希望をどこへ
ウイルス世界へ 散りばめる
総社 曉 夢華
春の嵐に 菜の花飛んで
曇る小道に 蝶が舞う

府中 助川 浩史
味は絶品 お袋さんの
田舎料理を 嫁が継ぐ

国府 篠原美千代
古木ながらも 貫禄見せて
香り伝える 梅の花
東石岡 惣野代英子
桜満開 行楽日和
若いロマンの 花も咲く
府中 小川野 蛙
孫の入園 手づくり袋
ミシンの調子も 弾む音

川柳

いしおか川柳会

杉並 助川 浩史
テレビ飽き本も読めずに生あくび
柿岡 関 きみ子
大丈夫老いても口は達者です
東大橋 醍醐 正夫
説明書分厚い本でわからない

投稿作品

山崎 荒井 幸子
終活に遺書記したりと言ふ友
を杞憂と笑へぬコロナ禍怖し
山崎 鈴木 君江
何事も心豊かな友なれば刺激
いただく今日の出逢いに

第21回 石岡大正琴愛好会

文化協会だより

大正琴は、大正元年に日本で誕生し、現在は生涯学習講座や小・中学校でも取り入れられています。

私達は、文化祭への参加、体験講座や県フラワーパーク、介護施設での演奏・発表会等の活動をしながら交流と研鑽をしています。

また、介護施設でのボランティア演奏は、施設の皆さんと懐かしい童謡や歌謡曲を歌い楽しむことで練習の励みや脳の活性化にもなります。

哀愁を帯びた美しい音色の大正琴はどなたにでも簡単に弾ける楽器ですのでご一緒にいかがですか。

会員数 33人

石岡大正琴愛好会(沖田)

TEL 24-0588

